

50万人以上が運転中？

車社会は、
認知症ドライバーを
受け入れられるか？

2013/9/28 JAF Mate編集部 鳥塚俊洋



逆走

ドライブレコーダ映像 JAF MATE社「ドラドラ動画」サイトより

	アルツハイマー病	ピック病	血管性認知症
記憶	出来事記憶の障害 (いつ、どこでといった 記憶を思い出せない)	意味記憶が障害されるこ ともある (言葉の意味、物の名前が 分からず、会話が通じない)	出来事記憶の障害
場所の理解	侵される	保たれる	侵されることもある
普段の態度	取り繕い・場合わせ (もっともらしい態度や 反応を示す)	我が道を行く行動、常同行 動・固執(同じことを繰り返 す、こだわり続ける)	意欲低下 感情失禁(わずかな事で急 に泣きだしたり、怒ったり する)
運転行動	・運転中に行き先を忘れる ・駐車や幅寄せが下手になる	・交通ルール無視 ・運転中のわき見 ・車間距離が短くなる	・運転中にボーっとするな ど注意散漫になる ・ハンドルやギアチェンジ、 ブレーキペダルの運転操 作が遅くなる

認知症による運転行動の特徴

- ・ 認知症の高齢者 462万人
- ・ 軽度認知障害(MCI)の高齢者 約400万人
- ・ 高齢者の免許保有率 約44%
- ・ ペーパードライバー率 3～4割 (ネットアンケートによる)
- 認知症のドライバー 約120万人
- 認知症 + MCIのドライバー 約230万人

**路上の車の約5%は、認知症またはMCIの
ドライバーの可能性がある。**

認知症のドライバーはどれくらいいるのか？

○103条第1項 (2002年施行)

免許の取り消し、または6か月以内の効力停止ができる

→免許を取り消す根拠となる規則。ただし、誰がどのように運用するかは未整備

○97条など (2009年施行)

75歳以上の更新時に講習予備検査(認知機能検査)。検査結果と違反の有無により、医師による臨時適性検査。

→検査効率、スクリーニングの確実性に課題

認知症ドライバーに対する現在の道路交通法

第1分類 記憶力・判断力が低くなっている者	3.3%
第2分類 記憶力・判断力が少し低くなっている者	27.4%
第3分類 記憶力・判断力に心配のない者	69.3%

受験者 2万6307名 → 第1分類 870名

制度開始後 1年間の免許取り消し → 39名

講習予備検査の実施状況
(2009年6～8月)

認知症は特別 or 高齢者の課題の一つ

可能な限り認める or 早期のリスク排除

自発的 or 強制的

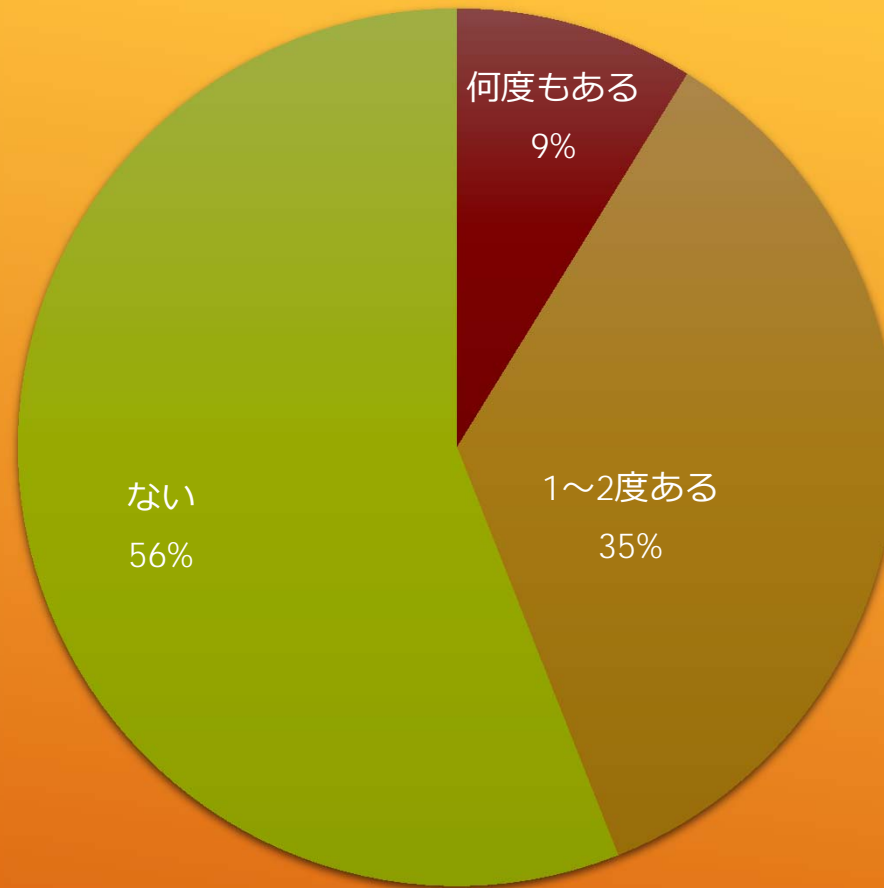
医学的 or 運転能力

公的機関 or 本人や家族など

認知症ドライバーの運転中止に関して
検討が必要と思われる課題

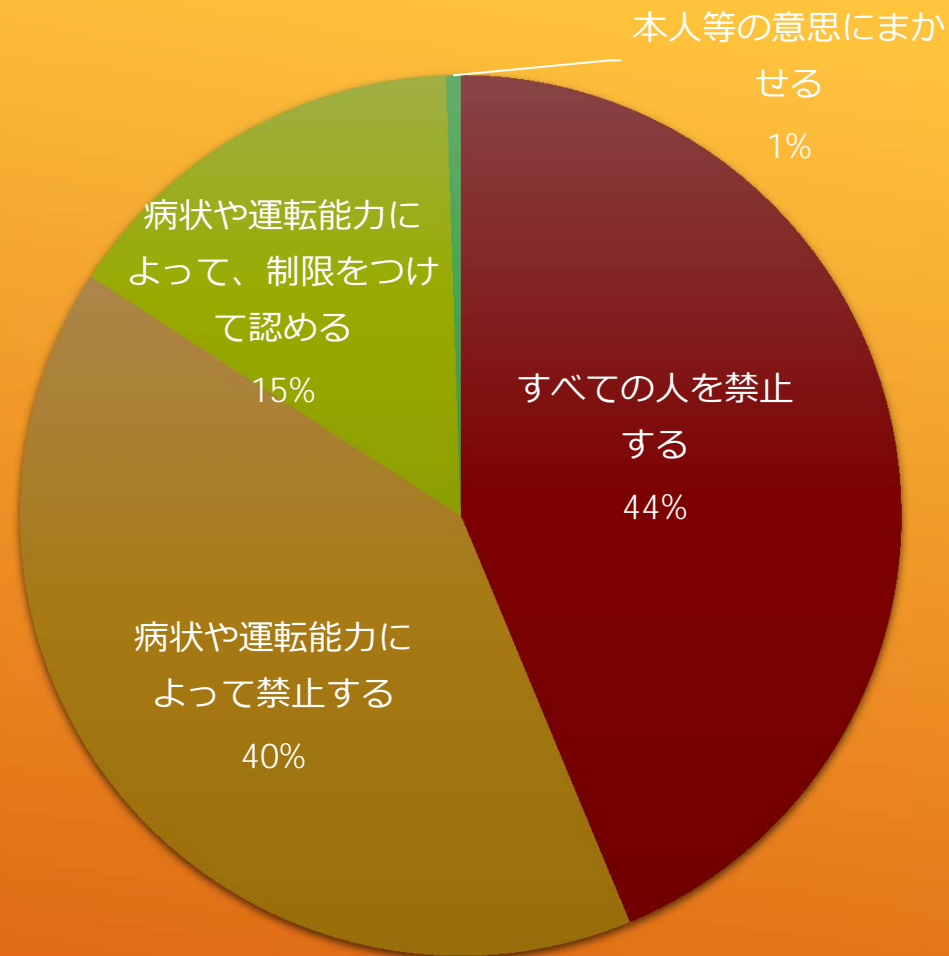
- 2013年8月 インターネット上で実施
- 有効回答数 750
- 男性89% 女性11%
- 30歳代以下6% 40歳代23%
50歳代26% 60歳代29% 70歳代以上16%
- 運転免許保有 99%
- ほぼ毎日運転 53% 週に数回運転35% 他12%

認知症と運転についてのアンケート



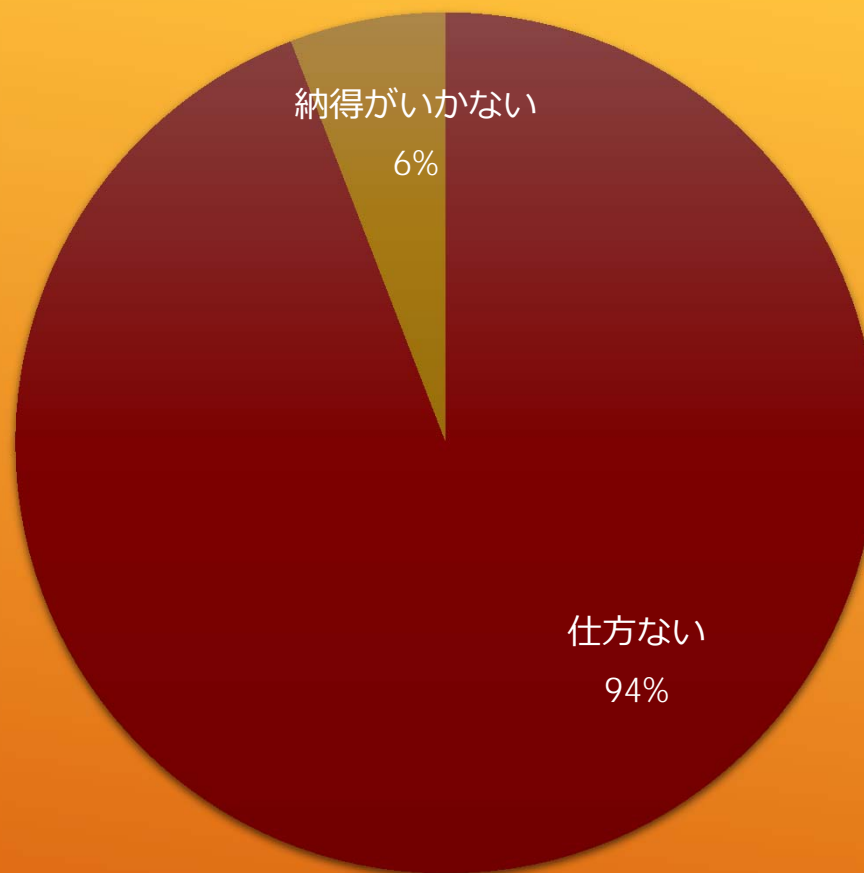
Q：道路上を進行方向と逆向きに走る
「逆走車」を見たことがありますか？

出典：JAF MATE社 認知症と運転についてのアンケートより



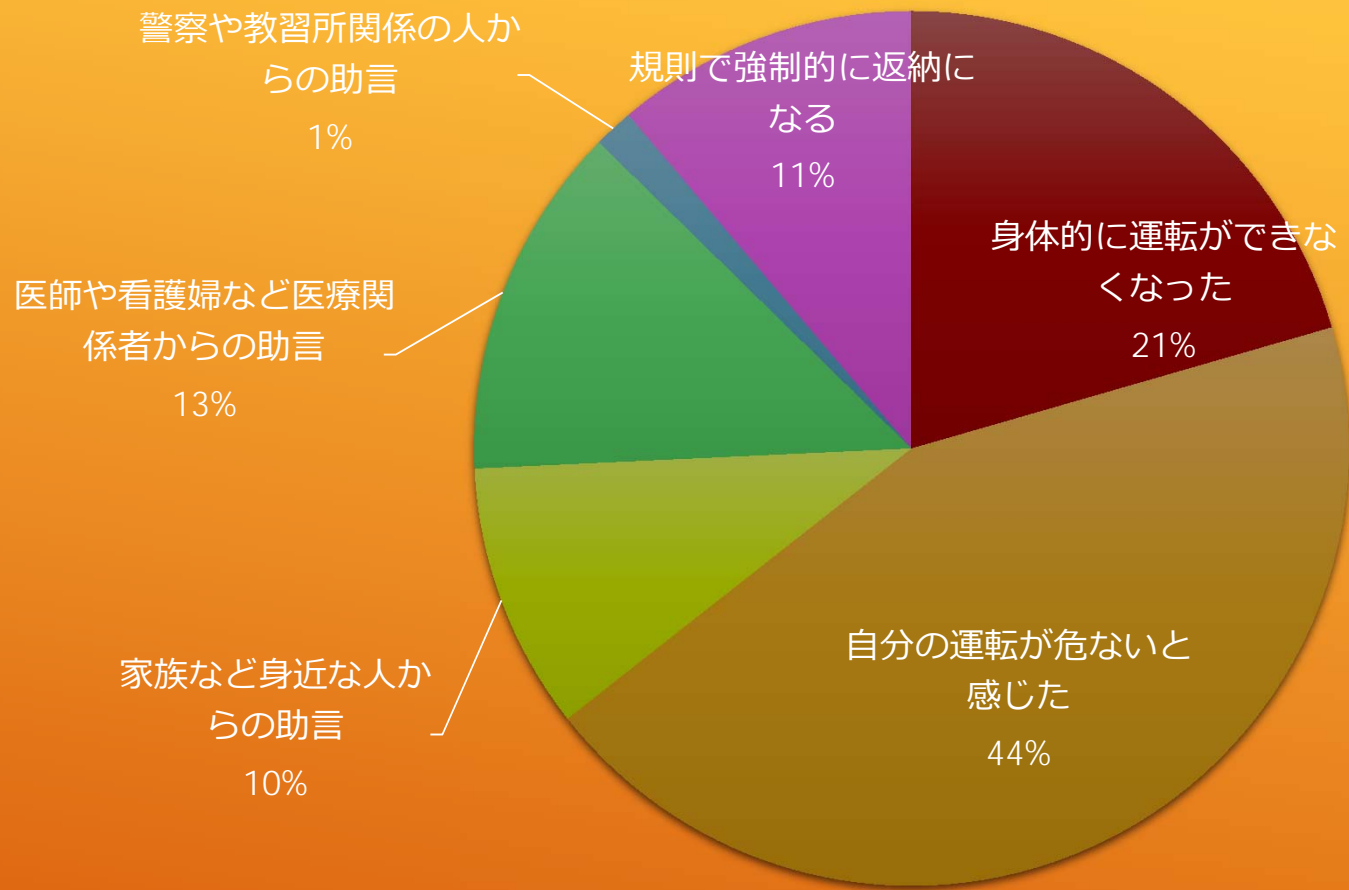
Q : 認知症患者の運転は禁止するべきだと思いますか？

出典：JAF MATE社 認知症と運転についてのアンケートより



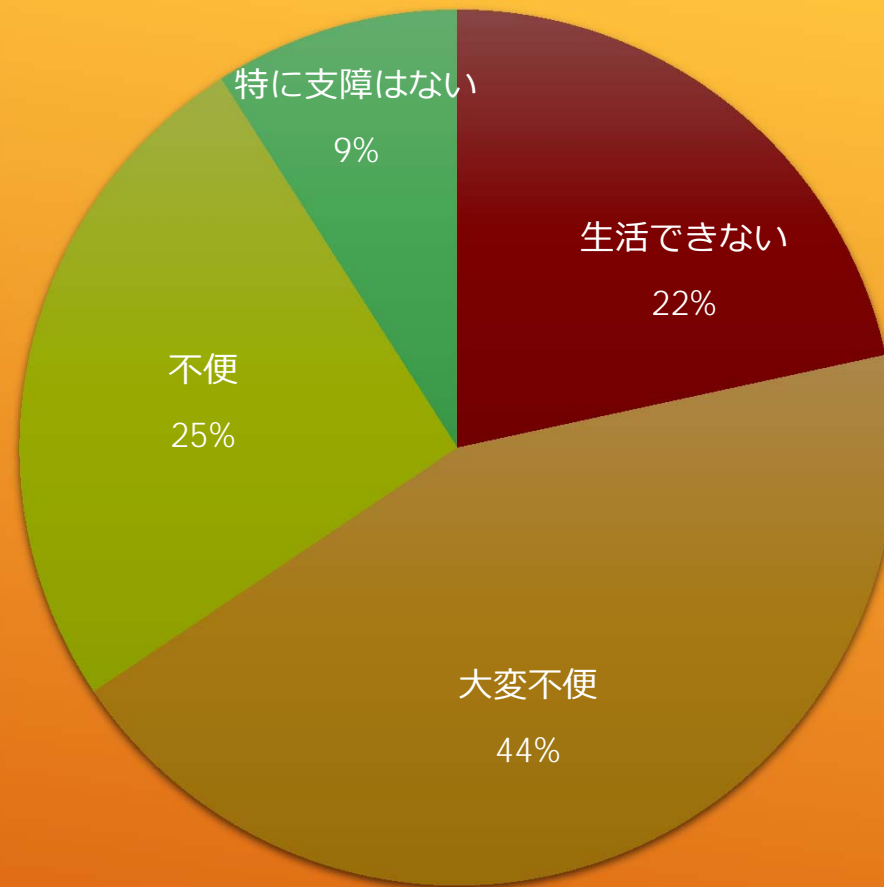
Q：もしあなたが、認知症のために免許返納を強制されたら、どう思いますか？

出典：JAF MATE社 認知症と運転についてのアンケートより



Q : 免許を返納するうえで、あなたが最も納得できる理由をひとつ選んでください。

出典 : JAF MATE社 認知症と運転についてのアンケートより



Q：マイカーの運転ができないと、生活に支障がありますか？

出典：JAF MATE社 認知症と運転についてのアンケートより

○認知症およびMCIのドライバーに対して、免許返納(いつ/誰が/どういう基準に基づいて)、安全運転教育などの仕組みの検討/整備を急ぐ必要がある。

○免許返納については、「適正な理由があればやむなし」という社会的理解は認められる。

○適正な理由としては、自身が危険を感じる事が最も説得力があり、次に身近な人や医療関係者による助言が有効。規則や公的機関による強制は納得できる人が少ない。

○返納後の生活の足の整備が急務

☆運転能力の客観的な判断のためには、高齢者ドライバー向けにドライブレコーダーの活用が有効と思われる。

まとめ